



2020年度夏季手当 および 新型コロナ特別手当 を求める 「職場の声」を紹介します！③

現場で働く組合員は、常に感染リスクがつきまとう。自分が感染しないか？自分が保菌している、家族を感染させてしまうのではないか？という不安が常に付きまとい、今後も第2波への不安を抱えて働く現場社員の為にも、賞与はしっかり支払われるべき

コロナの感染リスクを負いながら、日々列車を動かしてくれた社員の労に報いないと、士気が落ちるんじゃないか。世間では、鉄道や公共交通機関が、コロナ禍でも運行を確保し続けた事に対して大きく評価してくれている。そういう報道や書き込みを見て私自身驚いたし、非常に嬉しかった

Teams などの活用や感染拡大防止のために現場社員が自ら工夫を凝らして対策を立て業務に支障をきたすことがなかった

●お客さまからの声
電車で息子が手を振ると、運転士さんが挨拶を返してくれました。それだけでその日は良いことがあったと思えます。運転士の皆さんに感謝をお伝えしたい

テレワークも出来ない業種で覚悟を持って働いてきた。精神的・体力的に疲労している社員が満足できる手当を支給すべきだ

昨年の台風被害復旧も引き続き行っています。そこにコロナが発生して感染リスクを負いながら、日々の運行を現場は守ってきました

ジョブローテーションや基地再編等で努力している社員と家族が報われるものにしてほしい

今後、どう需要を取り戻し、収益を上げるかを考え現場で実践していくのは組合員・社員。モチベーションを上げるためにも支払能力があるのだから出すべき

住宅ローンの返済があるので減額されると正直なところ厳しい。満額支給してほしい

大企業であるJR東日本が手当を十分に支給し、消費を促す役割は大きい

不可抗力での減収時は、一時金で社員に安心を与えてほしい



「職場の声」が大きな力となります！
「職場の声」を結集し、満額獲得を実現しよう！

